

【住民参加企画】

まちのこえ



～広報広聴委員が聞く～

8月14日、第19回忠類ふるさと盆踊り大会がふれあいセンター福寿前特設会場で開催され、153名が出場し会場を盛り上げました。今回のインタビューは、大会を支えるお二人の方にお話をお聞きました。



ユニークな仮装で会場が盛り上がりました！！



◆◆◆加藤茂樹 実行委員長◆◆◆

今回は例年より見物の人も多く盛り上がっています。忠類地区の3大イベント（ナウマン全道そり大会、どんとこいむら祭り、ふるさと盆踊り大会）の一つとして力を入れています。忠類地区住民の皆さんが力を合わせ、手作りで地域の活性化に取り組んでいます。町議会の皆さんに、地域住民が地域のにぎわいを作り上げている姿を広報で知らせてもらうことにより、幕別町民の皆さんに知ってもらい、一体感を感じていただけるものと思います。これからも元気のある幕別をつくっていただきたいと思います。

◆◆◆中村光裕 忠類振興公社社長◆◆◆

会場内で売店を出して、地域の皆さん、来場していただいた皆さんに認知してもらい、地域貢献をしていきたいです。帯広・広尾高規格道が忠類まで開通し、人の流れは変わりました。道の駅、アルコ236への集客が増える様に日々活動をしています。お客様の笑顔と働いている人の笑顔が地域の盛り上がりになると考えています。



～あとがき～

今回、忠類ふるさと盆踊り大会を取材させていただき、地域住民の皆さんが忙しい中、大会運営や売店などに汗を流し頑張っている姿を目にし、私たち議会も一層頑張らなくてはと感じました。

（聞き手 荒 貴賀 東口隆弘）

編集後記

暑かった夏も終わり、一雨ごとに秋が深まっているのが感じられます。

8月に開催されました議会報告会には多くの町民の皆さまにご出席をいただきまして深くお礼を申し上げます。

皆さまから頂いた貴重なご意見を真摯に受け止め、開かれた議会に、そして親しみやすい議会だよりになるよう委員全員が一丸となり取り組んでまいります。

今後ともご愛読下さいますようお願いいたします。

岡本眞利子

議会広報広聴委員会

委員長 谷口和弥 副委員長 岡本眞利子

委員 板垣良輔 荒 貴賀 小田新紀 内山美穂子
若山和幸 小島智恵 東口隆弘

議会を傍聴して

札内北町 富田 晴(はる)
(新潟県在住 大学生)

私は、幕別町議会はどこで行われ、どんな内容がやり取りされているか全く知りませんでした。帰省中であったことや知人に誘っていただいたこともあって、初めて議会を傍聴することにしました。



それぞれの議員の方の一般質問通告書をひとつお読み、実際に議会でのやり取りを聞いてみると、幕別町の抱える問題について他の地域の事例を交えながら様々な角度から深く掘り下げ議論が交わされていることが分かり、とても参考になりました。

私たちのような若い人たちには是非一度議会を傍聴することをお勧めします。とても勉強になります。

〇お知らせ

図書館で会議録の閲覧ができますので、ご利用ください。